入試番号	BD51

2027年度
一橋大学大学院経営管理研究科 博士後期課程
（経営管理専攻　金融戦略・経営財務プログラム）
編入学　学生募集要項

博士後期課程金融戦略・経営財務プログラムは、ファイナンスやエコノミクス、会計に関する高度な実務上の問題解決のために、科学的厳密さと創造力を兼ね備えた高い水準の研究を遂行する能力を持ち関連する理論的問題に精通した、研究者及び実務家を養成することを目的としています。この目的のため、入学者には、明確な目的意識を持ちつつ、独自の学術的貢献を含む博士論文を完成させることにより、本プログラムで培った能力を証明することが求められます。

本プログラムは、金融実務上の高度な問題を扱うための問題意識を重視します。志願者には、社会人としての実務経験があることが望ましいですが、実務経験がない場合でも十分な問題意識が認められるならば、特例として入学を認める場合があります。勤務を継続しながら本プログラムに編入学を希望する場合は、十分な学習時間を確保できることが条件となります。

本プログラムの研究分野と異なる分野で修士課程を修了した志願者は、その後の実務において行った研究結果や業務上の報告書等を提示することにより、本プログラム編入学のための準備の程度を示すことが求められます。

また、本プログラムとは異なる分野の修士課程を修了する見込みの志願者は、本プログラムにおける研究のための準備の程度を示す資料を提出するか、研究計画書のなかにおいて記述を行うことが求められます。

3年以上在学し、演習12単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受け、博士論文提出資格審査に合格した上、本研究科が行う博士学位論文の審査及び最終試験に合格した方には博士（経営）「金融戦略・経営財務Ph.D.」の学位が授与されます。

受　講　条　件：4月入学
授　与　学　位：博士（経営）「金融戦略・経営財務Ph.D.」
所　　在　　地：東京都千代田区一ツ橋2-1-2　学術総合センター

1. 学生募集人員

経営管理専攻（金融戦略・経営財務プログラム）　　3名（進学者を含む）

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

(1) 以下進学出願資格者以外の、本学他研究科又は他大学大学院の修士課程（博士前期課程）若しくは専門職学位課程を修了した者及び2027年3月までに修了見込みの者
(2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月までに授与される見込の者

(3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月までに授与される見込の者

(4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月までに授与される見込の者

(5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月までに授与される見込の者

(6) 経営管理研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者及び2027年4月1日までに24歳に達する者[注]

(7) 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると、経営管理研究科において認めたもの[注]

(8) 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると、経営管理研究科において認めたもの[注]

注）上記(6)、(7)、(8)に該当する者は、出願資格の審査が必要となります。下記**資格審査書類受付期間より前に**、本研究科事務室にE-mail（chiyoda-info@hub.hit-u.ac.jp）又は郵便にて申し出て、その指示に従い必要書類を提出すること。

資格審査書類受付期間：2026年10月23日（金）～ 11月20日（金）

提出書類には証明書等発行に時間がかかるものもありますので余裕をもってご連絡ください。

次の要件のいずれかに該当する者は進学学生募集要項（入試番号：BD52）にしたがって応募してください。

【進学出願資格者】

(1) 本学国際企業戦略研究科専門職学位課程を修了した者
(2) 本学商学研究科修士課程を修了した者
(3) 本学経営管理研究科修士課程又は専門職学位課程を修了した者及び2027年3月に修了見込みの者

3．出願書類

書類等	提出対象	摘要
入学志願票	全員	下記URLのWEB出願ページから出力した入学志願票（プリントアウトして同封してください） WEB出願ページURL： https://reg31.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=nitj-lesbpe-12a462a4e9a4b5ff25cc8acbf8a25a2a

修了（見込）証明書 ※学士、修士、博士にかかわらず、保有する学位すべての証明書が必要です。	出願資格(1)の方	出身大学長（研究科長でも可）が作成したもの。 修了見込者は見込み証明書をもって代える。
	出願資格(2)、(3)、(4)の方	出身大学院の修了（見込）証明書及びM.A.又はＭＢＡ等の授与（授与見込）証明書。 中国の大学院を修了した者は、上記のほかに「中国高等教育学生信息網（学信網 CHSI)」（https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgcx.jsp)からダウンロードした学歴認証報告書(Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate)および学位証明書（Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate）を印刷したものを提出してください。
	出願資格(5)、(6)の方	出願前に一橋大学千代田キャンパス事務部へ問い合わせてください。
学業成績証明書 ※学士、修士、博士にかかわらず、保有する学位すべての証明書が必要です。	全　員	出身大学長（研究科長でも可）が作成したもの。
修士論文又はそれと同等の内容を有する論文、又は業務上作成した研究論文　3 部	全　員	全て日本語若しくは英語で書かれたものに限ります。未発表のものや、複写したものでも可。
修士論文又はそれと同等の内容を有する論文、又は業務上作成した研究論文の要旨 3 部	全　員	提出する論文の要旨を、A4 判用紙縦に横書き、日本語で 5 枚程度にまとめてください。活字の大きさは 12pt とします。 提出部数：正本 1 部､副本（正本の写し）2 部､計 3 部
研究計画書　3 部	全　員	所定の要領に従って作成したもの。（詳細は別紙「研究計画書作成のために」参照） 提出部数：正本 1 部、副本（正本の写し）2 部、計 3 部 **※WEB 出願ページの「研究題目」欄には上記の論文題目を記入してください。** 【重要】研究計画書の作成に当たってはアドミッション・ポリシーをよく確認し、志望する専攻の教育・研究内容と自らの目標が一致しているか十分な調査と検討を行ったうえで、自らの責任において作成したものを提出してください。
評価報告書	任　意	志願者の職業上又は学術上の経験・ 能力を知る者（勤務先の上司・大学院の指導教員など）に作成を依頼する場合には、所定の書式を用いし､厳封したものを提出してください。
在留カードの写し	外国人出願者	在留カードの表裏両面の写しを提出してください。ただし、在留カードを交付されていない者についてはパスポートの写しを提出してください。
入学検定料振込受取書等（下記「4. 入学検定料」欄を参照）	全　員（※に該当する者を除く）	入学検定料の利用明細又は、振込受取書等のコピー ※2026 年 4 月 1 日以降に本学修士課程・専門職学位課程（所属研究科問わず）を修了・修了見込の方は入学検定料の納入は不要です。

		※日本政府（文部科学省）奨学金留学生：入学検定料は振り込まずに、その旨を証明する所属大学発行の証明書を添付してください。

注）WEB 出願ページで登録する顔写真は、試験当日に本人確認のために使用します。試験実施時の確実な照合のために、画像が鮮明なものを用意してください。本人であることが確認できない場合には受験資格を失うことがあります。注）学業成績証明書は、原則として提出日から３か月以内に発行された原本を提出してください。

注）提出書類の中に英語以外の外国語で書かれた証明書、文書等がある場合には、その日本語訳を添付してください。ただし、英文の場合は不要です。

注）提出書類の氏名が入学志願票と異なる場合には、戸籍抄本等の氏名変更を証明できる書類を添付してください。

注）外国語検定試験における不正行為（疑い含む）による試験結果取消しを含め、出願書類に虚偽・偽造・不正行為等が発見された場合には、合格決定後でも入学（又は進学）を取り消すことがあります。注）提出された出願書類は返却しません。

※提出書類に不備があった場合は、審査対象とはなりませんのでご注意ください。

4. 入学検定料

入学検定料 30,000 円 ※2026 年 4 月 1 日以降に本学修士課程・専門職学位課程（所属研究科問わず）を修了・修了見込の方は入学検定料の納入は不要です。	【日本国内に在住の者】 **出願期間（5.(2)）内に**銀行振込、コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードのいずれかにより検定料を納付してください。 ※いずれの場合においても、振込手数料、支払手数料は各自でご負担ください。 ■銀行振込の場合 振込先：三井住友銀行国立支店 口座名義：「国立大学法人一橋大学経営管理研究科検定料口」 口座種別、口座番号：「普通預金７７６１７４０」 なお、振込の際、名前の前に「**６３６**」の番号を入力してください。 必ず利用明細又は、振込受取書のコピーをＡ４用紙に貼って出願書類に同封してください。 ■コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードの場合 本学の下記 WEB サイトから検定料支払サイトへアクセスし、事前申込の上、コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードにより検定料を納付してください。 https://www.hit-u.ac.jp/faculties/graduate/examfee.html 支払い後、コンビニエンスストア（ファミリーマート、セブンイレブン、ローソンまたはミニストップ）決済の場合は、店舗で発行される「収納証明書」をＡ４用紙に貼って出願書類に同封してください。その他のコンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードの場合は、検定料支払サイトで申込内容照会結果から「収納証明書」を印刷し、Ａ４用紙に貼って出願書類に同封してください。 ※支払い方法の詳細は、上記本学 WEB サイトに掲載の「一橋大学大学院検定料払込方法」を参照してください。

	【日本国外に在住の者】 **出願期間（5.(2)）内に**本学の下記 WEB サイトから検定料支払サイトへアクセスし、クレジットカードにより検定料をお支払いください。支払い後に、検定料支払サイトで申込内容照会結果を印刷し、出願書類に同封してください。 https://www.hit-u.ac.jp/faculties/graduate/examfee.html ※支払手数料は各自で負担してください。 ※支払い方法の詳細は、上記本学 WEB サイトに掲載の「一橋大学大学院検定料払込方法」を参照してください。 ※検定料支払いサイトでの支払い手順等については、同サイトの「よくある質問（FAQ）」を確認の上、E-サービスサポートセンターに問い合わせてください。 【日本政府（文部科学省）奨学金留学生】 入学検定料は振り込まずに、その旨を証明する所属大学発行の証明書を添付してください。 【2026 年 4 月 1 日以降に本学修士課程・専門職学位課程を修了・修了（見込）の方】 入学検定料の納入は不要です。

5．出願方法

■出願期間内に、①WEB 出願ページでの出願登録、②検定料の納入（検定料不要の場合を除く）、③必要書類 の郵送、を全て行うことにより出願が完了します。WEB 出願ページでの出願登録は、一橋大学金融戦略・経営財務プログラムのホームページ入試情報 https://www.fs.hub.hit-u.ac.jp/admission/exam/に掲載の WEB 出願ページ入力要領」（pdf）を参照しながら行ってください。

■海外在住または外国から出願する場合は、出願期間前に千代田キャンパス科事務部にメール（chiyoda-info@hub.hit-u.ac.jp）でお問い合わせください。

(1) 志願者は、入学検定料を振り込みの上、上記 3 の出願書類を一括し、封筒の表に「博士後期課程金融戦略・経営財務プログラム願書在中」と朱書きの上、所定の期間内に郵送（書留郵便やレターパック等の記録の残る方法）で提出してください。出願期間内に必着のこと。 ただし、出願期限を過ぎて着いたものでも、日本国内から発送されたもので 2027 年 1 月 8 日（金）以前の消印・引受け記録のあるものは受け付けます。発送業者（郵便局等）の追跡番号・引受け記録がない出願書類については、期間内の発送であっても遅配等には対応できません。なお、出願書類は直接持参しても受付けませんので注意してください。

(2) 出 願 期 間 ： 2027 年 1 月 4 日（月） ～ 1 月 12 日（火）〔必着〕

(3) 願書の提出先： 〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内
一橋大学千代田キャンパス 事務部

6. 選考方法

第 1 次試験（書類審査及び論文審査)、及びその合格者に対する第 2 次試験（口述試験）の結果を総合して合否を決定します。

(1) 第 1 次試験（書類審査及び論文審査）

書類審査： 志願者の能力、意欲、適性、これまでの学修の成果、実務経験の内容、基礎的学力について審査を行います。研究計画書では研究テーマの内容及び立案・計画能力を総合的に評価判定します。

論文審査： 研究を遂行し論文を完成させる基礎的能力について審査を行います。

合否結果及び第 2 次試験の実施日時については、2027 年 1 月 29 日（金）13:00 以降に E-mail にて通知します。

(2) 第 2 次試験（口述試験）

① 第 1 次試験（書類審査及び論文審査）に合格した者を対象に行います。
口述試験の際には必ず第 1 次試験結果通知書をプリントアウトの上持参してください。

期　日	試 験 科 目	試験時間
2027 年 2 月 7 日(日)	口述試験 〔提出された書類及び論文等に基づき、専門に関連する事項、その他について行います。〕	9:30 ～ 17:00 （面接の時間指定はお受けできません）

② 第 2 次試験(口述試験)試験場
東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内 一橋大学千代田キャンパス
（地下鉄竹橋駅より北へ徒歩約 5 分又は、神保町駅より南へ徒歩約 5 分）

7. 合格者発表

日 時： 2027 年 2 月 19 日（金）13:00

場 所： 学術総合センター内 一橋大学大学院千代田キャンパス掲示場（5F）

※合格者受験番号を本研究科ウェブサイト(https://www.hub.hit-u.ac.jp)に掲載します。
※合格者には、合格通知書及び入学手続書類を郵送します。

8. 入学手続

(1) 入学手続期間

2027 年 2 月 26 日（金） ～ 3 月 3 日（水）

(2) 入学料の納入額

入 学 料： 282,000 円

入学手続期間内に納入がない場合、入学辞退者となります。

2026 年 4 月 1 日以降に一橋大学修士課程及び専門職学位課程(所属研究科は問いません）を修了・修了見込の方については、入学料の納入は不要です。

（注）本学には、入学料の免除・徴収猶予の制度があります。ただし、2027 年度入学者より、入学料の免除は日本人学生（「永住者」や「定住者」、「特別永住者」、「日本人の配偶者等」、「永住者の配偶者等」の在留資格を有する者も含む）のみが対象となります。入学料の免除・徴収猶予を希望する場合には、入学料を納入せずに、学生支援課にて申請書類の交付を受け、所定の期間内に申請を行ってください。納入後の免除・徴収猶予の申請はできません。また、申請を行っても不許可となることもありますので、入学料の準備は事前に十分行っておいてください。

(3) その他

入学手続きに必要な書類とその提出方法については、合格者に郵送にて通知します。

(4) 学費

修了までに必要な学費は、3 年間で合計 2,210,880 円となります。授業料については、入学後に半年分ずつ（321,480 円）納入することになります。納入時期、納入方法については入学後改めて通知いたします。

	1 年目	2 年目	3 年目
入学金	282,000 円		
授業料	642,960 円	642,960 円	642,960 円
合計	924,960 円	642,960 円	642,960 円

学生納付金（入学料・授業料）は改定される場合があります。

9. そ の 他

国際学生館景明館及び国際学生宿舎（学生寮）について
本学国際学生館景明館及び国際学生宿舎（学生寮）への入居希望者は、2026 年 12 月（予定）に本学ホームページに「入居者募集要項」を公表しますので、要項に従い申請してください。
http://www.hit-u.ac.jp/shien/campuslife/apartment.html

10. 注 意 事 項

(1) やむを得ない事由等により、入試日程および内容等を変更する可能性があります。また、気象状況や公共交通機関の遅延・運休等が入試実施に影響を及ぼす場合等、受験者に対し緊急連絡を行う場合があります。これらの事由が生じた場合は、本研究科ウェブサイト（https://www.hub.hit-u.ac.jp）にて通知します。

(2) 経営管理研究科経営管理専攻では、入学試験を以下の A～C 群に区分して実施しています。同じ群にある入学試験に併願することはできません。異なる群の入学試験に出願することは可能です。

A 群
- 修士課程研究者養成コース（一般選考、内部選考）
- 博士後期課程研究者養成コース（外国人特別選考）
- 経営学修士コース経営分析プログラム（一般選考、内部選考、特定大学特別選考）

B 群
- 経営学修士コース経営管理プログラム（含、ホスピタリティ・マネジメント・プログラム）

第 1 期
・経営学修士コース経営分析プログラム（企業派遣特別選考（第 1 期））
・経営学修士コース金融戦略・経営財務プログラム（秋期）

C 群
・経営学修士コース経営管理プログラム（含、ホスピタリティ・マネジメント・プログラム）
第 2 期
・経営学修士コース経営分析プログラム（企業派遣特別選考（第 2 期））
・経営学修士コース金融戦略・経営財務プログラム（冬期）
・**博士後期課程**（研究者養成コース編入学・進学、**金融戦略・経営財務プログラム**、イノベーション・マネジメント・プログラム特別選考）

出願後の志望研究科及び専攻の変更は認めませんので注意してください。

(3) 入学試験に関する照会は、一橋大学千代田キャンパス事務部宛てに E-mail：chiyoda-info@hub.hit-u.ac.jp、又は郵便で送付してください。**電話による問い合わせには応じません。**
※千代田キャンパス事務部は土日祝日および年末年始（12/28～1/3）は閉室しております。

(4) 経営管理研究科金融戦略・経営財務プログラム WEB サイトに、カリキュラム、授業時間帯等の情報を掲載しておりますのでご一読ください。［https://www.fs.hub.hit-u.ac.jp/］

(5) 出願後の志望研究科、専攻、プログラムの変更は認めません。なお、志望するプログラム以外の教員の演習は選択できないので注意してください。

(6) 出願書類及び既納の入学検定料は返却しません。

(7) 各種証明書は必ず**提出日から 3 か月以内に発行された原本**を提出することとします。複写したものは受理しません。ただし、複写可の断り書きがある書類については、この限りではありません。

(8) 出願書類の記入にあたっては、原則としてパソコンを使用することとします。

(9) 本プログラム博士後期課程では、入学後指導を希望する教員に対して、これまでの研究内容および今後の研究計画について事前相談することは可能です。希望指導教員への事前相談は、出願締切日までの実施であれば可とし、希望する場合は、一橋大学千代田キャンパス事務部（E-mail：chiyoda-info@hub.hit-u.ac.jp）へご連絡ください。なお、以下の点についてあらかじめご留意ください。

・事前相談の有無は、選考の評価には影響いたしません。

・関心のある研究テーマが本研究科で実現可能かどうか等のご相談は問題ございませんが、出願書類（特に研究計画書）への具体的な指導は行いません。

(10) 障害等があり受験上の配慮を希望する者は、本研究科の出願に先立ち、出願期間開始日の 2 週間前までに、千代田キャンパス事務部に相談を申請してください。
（上記日以降にも相談申請を受け付けますが、その場合、受験上の配慮が間に合わないことがあります。事前相談の申請は、本学への出願を義務付けるものではありません。 本研究科への出願が未定であっても事前相談申請を受け付けております。

※希望する配慮内容によっては、回答に時間を要することがあります。

修学上の配慮に関する相談窓口は以下のとおりです。

アクセシビリティ支援室
https://www.hit-u.ac.jp/shien/counseling/shougai/shougaishien.html

(11) 入学手続き後、どのような事情があっても、入学料の払い戻しはしません。

(12) 個人情報の取り扱いについては，WEB 出願ページ「個人情報の取り扱いについて」を参照してください。WEB 出願ページでの「同意」がない場合、出願できません。

(13) 入学試験の成績は、本学の今後の入試及び教育の改善のため、並びに入学後の教育・学業支援の目的のために本学内で使用することがあります。

(14) 過去の入学志願者数・受験者数・合格者数及び入学者数については、金融戦略・経営財務プログラム WEB サイト(https://www.fs.hub.hit-u.ac.jp/admission/students-data/)に掲載しています。

【問合せ先】

国立大学法人　一橋大学大学院　千代田キャンパス事務部

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2　学術総合センター

E-mail：chiyoda-info@hub.hit-u.ac.jp

評 価 報 告 書

一橋大学大学院経営管理研究科博士後期課程金融戦略・経営財務プログラム入学試験の重要な情報となりますので、できるだけ具体的に、また、評価が正確に伝わるようにお書きください。ご協力に感謝いたします。

【評価報告者と申請者（入学志願者）との関係】

1．志願者をどの程度の期間、どのような関係でご存知ですか？ 評価報告者と志願者のご関係等、できるだけ具体的にお答えください。

評価報告者と志願者との関係（具体的に）　　期 間
年　月から　　年　月

評価報告者（直筆サイン又は印）:

志　願　者:

2．業務、教育、あるいはその他の機会において、志願者の評価を以下の項目についてお答えになり、ご評価の点数を対応させて下記の六角形のグラフを完成させてください。

(a) 総合評価：　志願者は、本博士課程に

1---------2---------3---------4---------5---------6---------7---------8---------9---------10
全く適さない　　極めて適している

また、それは志願者のどのような資質によるとお考えでしょうか？ 具体的にお書きください。

(b) 基礎的な学力と理解力

1----------2----------3----------4----------5----------6----------7----------8----------9----------10
極めて劣っている　　極めて優れている

また、それはなぜでしょうか？ できるだけ具体的な事例を挙げてお書きください。

(c) 問題の本質を見抜き、新しいアイディアを着想する力

1----------2----------3----------4----------5----------6----------7----------8----------9----------10
極めて劣っている　　極めて優れている

また、それはなぜでしょうか？ できるだけ具体的な事例を挙げてお書きください。

(d) アイディアを具体的な企画に変え、それを実現に結びつける力

1----------2----------3----------4----------5----------6----------7----------8----------9----------10
極めて劣っている　　極めて優れている

また、それはなぜでしょうか？ できるだけ具体的な事例を挙げてお書きください。

(e) アイディアを的確に説明し、人を説得する力

1----------2----------3----------4----------5----------6----------7----------8----------9----------10
極めて劣っている　　極めて優れている

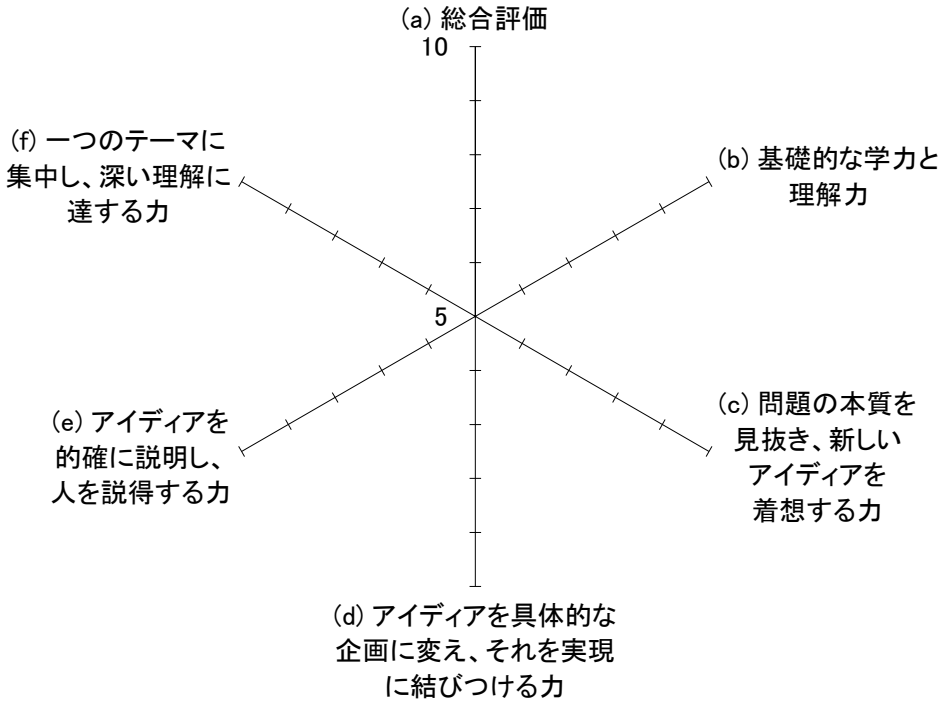
また、それはなぜでしょうか？ できるだけ具体的な事例を挙げてお書きください。

(f) 一つのテーマに集中し、深い理解に達する力

1----------2----------3----------4----------5----------6----------7----------8----------9----------10
極めて劣っている　　極めて優れている

また、それはなぜでしょうか？ できるだけ具体的な文献や事例を挙げてお書きください。

評価報告者による志願者の能力評価



以上の項目以外にも付け加えるべきとお考えになる長所若しくは短所があれば、その具体的なご説明とあわせてお書きください。

3．志願者と同様の環境（職場、大学等）で、いままでに何人をご覧になってきましたか？
その中で、志願者は上位何%に属するとお考えですか？

以上

研究計画書作成のために

金融戦略・経営財務プログラムにおいては、講義科目は基礎的・専門的な知識と方法論を体系的に身につけるためのもの、演習（ゼミ）は講義で培われた基盤の上に各自の研究を進めるためのものと位置付けられています。博士後期課程においては、当面、演習（ゼミ）を中心に研究・教育を行います。本プログラムを志望するにあたり、あなた自身の研究計画について現在のお考えをお書きください。研究テーマは、理論から実践まで何でも構いませんが、ポートフォリオ運用、財務戦略などの実践に結び付けるところまでお考えください。

研究計画書は表紙 1 枚（ページ）、内容 10 枚（ページ）、合計 11 枚（ページ）とします。提出論文等の添付資料は枚数に含めないでください。作成にあたっては原則としてパソコンを使用し、A4 用紙縦に横書き、日本語でお書き下さい。活字の大きさは 12Pt とします。

第 1 次審査（書類審査）の重要な部分ですので、以下の要領に従い、お考えの研究計画や目標ができるだけ正確に伝わるようにお書きください。

表紙【第 1 ページ】

必ず添付のフォームを使用してください。

表紙には　①志願者の氏名、②勤務先名称・部署・役職・業種、③希望する指導教員（第 6 章（1）に記載したもの、複数可）、④博士論文の題目（1 行以内）、⑤修士論文の内容の要約（10 行以内）　を記入してください。

第 1 章　研究テーマ【第 2 ページから第 5 ページ】

第 1 節：研究のモチベーション
選択したテーマを研究したい理由と背景を説明してください。

第 2 節：既存の研究の要約
研究テーマに関する既存の研究結果の紹介と概略を説明してください。

第 3 節：研究したい内容
(1) 研究対象の何を明らかにしたいのか
(2) その問題にどのように取り組めば良いと考えるか
(3) この研究が既存の研究にどのような新しい知識を加えることになるのか
等を具体的に説明してください。

第 4 節：研究成果の利用法
理論から実践まで何でも構いませんが、ポートフォリオ運用や財務戦略等の実践にどのように結び付けていくか、できるだけ具体的に説明してください。

第 5 節：これまでの活動
その研究のために、あなた（志願者）がこれまで行ってきたことを説明してください。

第２章　研究に関する文献【第 6 ページ】

第 1 節：第 1 章で既存の研究として挙げた本・論文のリスト
第 2 節：これまでの研究活動で読んだ本・論文のリスト

第３節：今後読まなければならないと思っている本・論文のリスト

（第３節で挙げる本や論文については、それらから具体的に何を学べると予想されるかについても簡単に書き添えてください。）

第３章　研究に使用したいと考えるデータ・設備【第７ページ】

研究テーマとの関連と利用法を明らかにしながら、使用したいと考えるデータ・ソフトウェア・設備などをできるだけ具体的に説明してください。

第４章　論文及び報告書【第７ページ】

いままでに書いた論文の中から、学術雑誌や本に掲載されたものか、そうでなければ特に優れているとお考えのものを選び、それらの題目と要約を記してください。学術雑誌記載の場合は、査読付きと査読無しの区別を示してください。また、本章に記載した論文のコピーを研究計画書に同封し提出してください。ただし、学士論文や修士論文の場合は論文そのものではなく、代わりに A4 用紙に 12Pt で１ページ程度にまとめた要約を提出してください。

第５章　基礎知識と構想（ビジョン）【第８ページから第 10 ページ】

この章は、あなた（志願者）が、本プログラムで研究を進めていくために必要な一般的な知識をどれだけ持っておられるか、また上記研究計画の背景にどのような構想を抱いておられるかを理解するためのものです。

記載事項に基づき研究指導のプランを作りますので、得点等に関する自己申告部分の記載に誤りがある場合は、入学後、勉学・研究の進捗に障害をきたし、双方の不利益となりますので、出来るだけ正確にお書きください。

(1) 英語の力はどの程度ですか？ 英語で書かれた本や論文を読みこなし、英語で議論することができるでしょうか？ そのような経験がありますか？ 海外勤務や留学の経験がある場合には、勤務・留学先、期間、内容等について簡単に記してください。また英検・TOEFL・TOEIC 等の試験を受けている場合には、その点数を書き、可能ならば得点表のコピーを同封してください。
さらに、購読している英文雑誌があればそれを記してください。

(2) 数学の力はどの程度ですか？ 充分読みこなした教科書の書名と著者名を列記してください。さらに、学部や大学院で習得した数学科目名とその成績も記載してください。また、現在、業務に数学の知識を直接・間接に役立てている場合には、その数学の分野の名称と、利用する本の書名と著者名、及び利用の仕方とあなたの評価を簡潔に述べてください。

(3) 統計学、データ分析はどの程度勉強しましたか？ 充分読みこなした教科書の書名と著者名を列記してください。さらに、学部や大学院で習得した統計学、データ分析の科目名とその成績も記載してください。また、現在、業務に統計やデータ分析の知識を直接・間接に役立てている場合には、その統計学の分野の名称と、利用する本の書名と著者名、及び利用の仕方とあなたの評価を簡潔に述べてください。

(4) 金融や経済の勉強はどの程度しましたか？ 充分読みこなした教科書の書名と著者名を列記してください。さらに、学部や大学院で習得した金融や経済関連の科目名とその成績も記載してください。また、現在、業務にこれらの知識を直接・間接に役立てている場合には、その金融論・経済学の分野の名前と、利用する本の書名・著者名、及び利用の仕方とあなたの評価を簡潔に述べてください。

(5) コンピュータはどの程度利用できますか？ よく使うソフトウェアの名称とその利用方法、さらに

それらのソフトに関するあなたの評価を具体的に記してください。また、いままでに利用した、金融統計データ分析や金融実務に関するソフトウェアを記し、何にどの程度利用したか具体的に書いてください。

(6) あなたが得意とするもの、またこの金融戦略プログラムに自分が如何に適しているかについて、自分で申告したい事柄を自由にお書きください。

(7) あなたは、社会人あるいは学生として、どのようなことをどのようにして達成しましたか？ 具体的に記してください。金融に関係なくても構いません。

(8) あなたが現在の職業（大学院生も含む）を選んだ理由はなんでしょうか？

(9) あなたは、本プログラムを卒業後、どのような進路を考えていますか？ 研究者（大学、研究所等）となる、実務家として働く（同じ会社に戻る、別の会社に移りたい、自分で会社を作りたい等）、行いたい仕事や作りたい会社の内容を含め、構想を具体的に説明してください。

(10) 変革期にある現代、これから世界はどのような方向に向かって行くのか、その中で日本はいま抱える問題をどのように解決して行けば良いのか、そしてその場であなたはどのような役割を担いたいと考えるのか、お考えを簡潔に論じてください。

(11) 最後に、音楽、絵画、彫刻、建築、文学、哲学、スポーツ等、あなたが興味を持ち、評価するものがあれば、簡潔に記してください。

第６章　その他【第 11 ページ】

以下の質問に簡潔にお答えください。

(1) 演習での指導は必ずしも単独指導ではなく、集団指導であることが予想されます。特に指導を受けたいと思っている教員名とその理由を挙げてください。

(2) あなたは、この博士後期課程金融戦略・経営財務プログラムで、あなたの求める勉強が充分できると思いますか？ 不足するとお考えの点があれば、お考えの理由とともにお書きください。

以上

研究歴・職歴　追加フォーム（WEB 出願フォームで書ききれなかった方のみご利用下さい）

勤務先名	勤務年数	勤務期間（西暦）	職　務　内　容
	年 月	年 月から 年　月 まで	
	年 月	年 月から 年 月まで	
	年 月	年 月から 年 月まで	
	年 月	年 月から 年 月まで	
	年 月	年 月から 年 月まで	
	年 月	年 月から 年 月まで	
	年 月	年 月から 年 月まで	
	年 月	年 月から 年 月まで	
	年 月	年 月から 年 月まで	
	年 月	年 月から 年 月まで	
	年 月	年 月から 年 月まで	
	年 月	年 月から 年 月まで	

研究計画書　表紙

①志願者名	
②勤務先企業名	
	部署名：　　役職：
業種（〇で囲む）	1. 銀行・リース　2. 証券 3. 保険　4. 資産運用　5. 貿易商社　6. コンサルティング　7. 監査法人・税理士法人等 8. 製造業　9. 建設　10. 運輸　11. ガス・電気　12. 情報・通信　13. 小売り流通　14. サービス業　15. 官公庁　16. その他（　　）
③希望する指導教員（〇で囲む、複数可）	折原正訓准教授　篠崎裕司准教授　清水良樹准教授　中川秀敏教授 野間幹晴教授　本多俊毅教授　横内大介教授

④論文の題目（１行以内）

⑤要約（10 行以内）